

# 心に残った記事「熱弁」

## 学校祭表現、考える力競う

勝山北部中



新聞を活用したNIE学習に取り組む勝山北部中で13日、心に残った記事を紹介して表現力や考える力を競い合

う「ハッピーニュースコンテスト」が開かれた。全校生徒137人が15グループに分かれ、切り抜き記事を手にながらスピーチをした。同コンテストは新聞に親しむことを目的に、学校祭のプログラムとして毎年行われている。この日は予選があり、発表の聞きやすさや、ニュースに対して自分の考えを持ってい

自分が印象に残った記事について発表する生徒=13日、勝山市の勝山北部中



るかなどの観点で審査をした。川村真穂さん(2年)は7

月末、坂井市内で誕生したコウノトリのひなの巣立ちが確

認された記事を紹介し「コウノトリだけでなく全ての生き物のためにも、地域の美化活動などを通じて環境を守っていきたい」と発表。  
坂井蘭君(3年)は福井豪雨発生から15年に合わせ、福井市の決壊した足羽川堤防の現場近くに当時の浸水被害を示す標識が設置された記事を取り上げて「今後の避難にも役立つと思う。被害に遭った他の場所にも設置を進めてはどうか」と意見を述べた。  
生徒たちは発表を聞きながらポイントメモし、感想や質問を投げ掛け、発表者やりとどりにしていた。この日は、生徒と教員による採点によって決勝に進む4人を決めた。14日は4人で競う。  
(棟田崇仁)